

① 検討の目的

- ✓ ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた新しいまちづくりにあたっては、感染症対策という面からも安全・安心であることが、市民や来街者等にとって重要な視点となっている。
- ✓ そこで、**新たな公共空間や多くの人が利用する施設**の整備が進みつつある都心三宮エリアにおいて、**感染症対策の視点から新たな取組**（神戸モデル）を検討するため、有識者による検討会を設置し、先進事例や知見等を研究しながら、**具体的な手法や運用方法など有効な方策**について検討し整理する。
- ✓ 検討会でのとりまとめを踏まえ、市が新たな取組を実施・公表することで、**市民や来街者、施設管理者等にとって、より安心で安全な三宮再整備**を推進する。

検討会の目的・視点

② 検討の視点（案）

✓ 神戸らしい取組であること

→神戸の新たなシンボルである「三宮クロススクエア」をはじめ、公共空間も民間施設も含めた幅広い対象を想定したい

✓ 取組みやすさを重視

→より多くの「場」で取り組まれるよう、手続きや内容等において取組みやすさを重視したい

✓ フレキシブルな仕組み

→日々蓄積される新たな知見に対応し、柔軟にアップデートができるよう、フレキシブルな仕組みとしたい